

リサイクル情報の提供「さしあげます・ゆずってください」について

1. 事業内容

市民から寄せられた「ゆずりたい物」と「ゆずって欲しい物」の情報を市報とホームページに掲載し、応募があった場合に当事者間で連絡を取りあって物品の受け渡しをする。

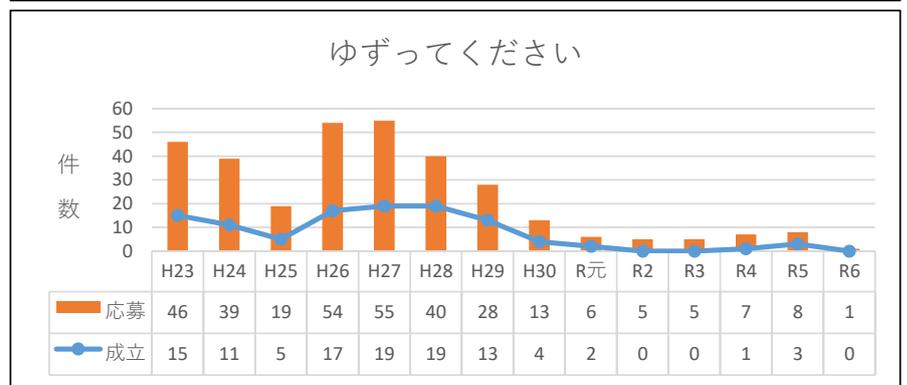
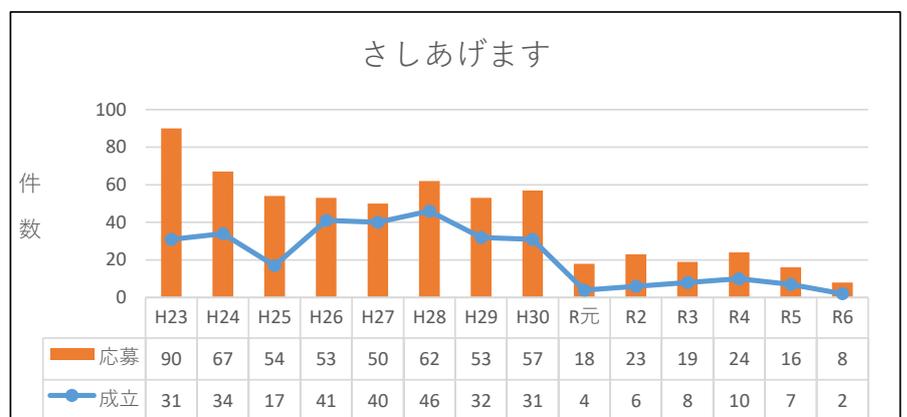
2. 事業の目的

生活用品の再利用を促すことで、資源の有効活用を図り、省エネルギーや環境保護の一助とすると共に、事業自体を周知することで、市民の意識向上を図る。

3. 実績の推移（令和6年度は12月までの実績値）

(単位：件)

| 年度 | さしあげます | | ゆずってください | |
|-----|--------|----|----------|----|
| | 応募 | 成立 | 応募 | 成立 |
| H23 | 90 | 31 | 46 | 15 |
| H24 | 67 | 34 | 39 | 11 |
| H25 | 54 | 17 | 19 | 5 |
| H26 | 53 | 41 | 54 | 17 |
| H27 | 50 | 40 | 55 | 19 |
| H28 | 62 | 46 | 40 | 19 |
| H29 | 53 | 32 | 28 | 13 |
| H30 | 57 | 31 | 13 | 4 |
| R元 | 18 | 4 | 6 | 2 |
| R2 | 23 | 6 | 5 | 0 |
| R3 | 19 | 8 | 5 | 0 |
| R4 | 24 | 10 | 7 | 1 |
| R5 | 16 | 7 | 8 | 3 |
| R6 | 8 | 2 | 1 | 0 |



4. 事業の問題点

- 対象物品の受け渡し方法などについて、当事者間で直接やり取りをしてもらう都合上、掲載希望者の名前と電話番号を応募者へ伝える必要があり、伝えた情報が他へ流用されるなどの懸念がある。
- この数年来、応募件数が減少しており事業の需要が減ってきている。

5. 検討事項

- 事業の廃止について

現在の社会では個人情報に対する意識が高まっており、従来通りの方法で事業を行う事に問題が生じている。また、近年ではリサイクルショップやフリーマーケットサイトの人気・需要が高まっていて広く一般に利用されている。このような状況から、既に生活用品などのリユースに対する意識が市民の中に定着していると思われ、消費生活行政の役割である「市民への啓発」という観点では事業の役目を果たしており、今後も事業を継続していく必要が無くなったと考えられる。